

## 日本混相流学会 2011 年度第 2 回理事会・議事録

日時： 2011 年 10 月 8 日（土） 13:00-17:00

場所： 東京工業大学原子炉研究所 原子炉研 1 号館（大岡山北 1 号館）第 1 会議室

出席者：

佐田富道雄（会長）、秋本肇（筆頭副会長）、富山明男（副会長）、小泉安郎（副会長）、木倉宏成（情報部会長）、齊藤泰司（企画部会長）、大川富雄（国際部会長、関西地区担当）、川原顕磨呂（総務部会長、九州地区担当）、河合秀樹（理事、北海道地区担当）、中野政身（理事、東北地区担当）、市川直樹（理事、関東地区・学生会担当）、内山知実（理事、東海地区担当）、加藤泰生（理事、中国・四国地区、OMF 担当）、呉田昌俊（総務部会委員）、近藤健（事務局長）

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2011-2-01]
2. 各種委員会委員名簿(9月号会告原稿)の確認 [資料 2011-2-02]
3. 地区代表の選任について [資料 2011-2-03]
4. 情報部会報告 [資料 2011-2-04]
5. 企画部会報告  
・ 学生優秀講演賞、学生会セミナー [資料 2011-2-05]
6. 国際部会報告  
・ 第 7 回混相流計測技術国際会議 (ISMTMF 天津 2011) の報告 [資料 2011-2-06]
7. 2011 年度の対応について [資料 2011-2-07]
8. その他  
    学会賞受賞候補者の推薦について [資料 2011-2-08]  
    業績賞、貢献賞、名誉会員についてのスクリーニング作業について [資料 2011-2-08]  
    2012 年 OMF 実行委員長の選出について  
    2011 年 OMF の進捗状況について  
    5 次回理事会日程について  
    2011 年 12 月 17 日（土） 龍谷大学大阪梅田キャンパス

議事：

1. 前回議事録の確認  
・ 川原総務部会長から資料 2011-2-01 に基づき 2011 年度第 1 回理事会議事録（案）の確認があり、案どおり了承した。
2. 各種委員会委員名簿(9月号会告原稿)の確認  
・ 資料 2011-2-02 に基づき、川原総務部会長から 2011 年度各種委員会委員名簿が提示され、これを確認した。
3. 地区代表の選任について  
・ 資料 2011-2-03 に基づき、川原総務部会長から地区代表の選出に関して説明があった。  
・ 次期中国・四国地区代表を永橋優純氏に委任することが承認された。

- ・次期関東地区代表について、現地区代表の1年延長の申し出があったが、審議した結果、現地区代表と市川関東地区担当理事で、再度、新しい方の人選をお願いすることになった。後日、人選の結果を市川理事が川原総務部会長に報告し、理事会(メール審議)において承認する見込みである。
- ・次期評議員候補の推薦について、川原総務部会長から各地区代表者と担当理事に推薦を依頼し、各地区代表者は結果を11月中旬までに川原総務部会長に連絡することになった。
- ・秋本筆頭副会長は監事候補を11月中旬までに川原総務部会長に連絡することになった。
- ・関東地区においては次期評議員候補の推薦時に筆頭副会長を入れるように付言があった。

#### 4. 情報部会報告

資料 2011-2-04 に基づき、木倉情報部会長から編集委員会の活動の報告があった。

・論文投稿状況の説明があり、論文投稿数の増加対策を議論した。研究企画委員会の各分科会企画の特集号を設ける、OMF の発表論文の特集号を設ける、理事が積極的に投稿をする等の案がでた。

・ICeM News Letter の綴じ込みについて：

ICeM News Letter に付与されている ISSN 番号の取り扱いの関係上、綴じ込み形体の再検討が必要との判断から 2011 年 9 月号については別刷り挟み込みで対応したとの報告があった。次号以降についての案として、

A: 綴じ込み (学会誌の ISSN 番号とは異なる ICeM 番号を付けたままでよい場合) + 別刷り 50 部程度

B: 挟み込み

が挙げられ、A 案が可能な場合は A 案を、A 案が不可能な場合は B 案とすることにした。A 案が可能かどうかは事務局に確認してもらうことになった。

・投稿規定の改定案が報告された。改定案は電子版が各理事へ送付される見込みであるので、その後、気付いた点があれば 11 月 25 日 (編集委員会 11/26 の前日) までに木倉情報部会長へ知らせることになった。

・震災 1 年企画について：

学会誌「混相流」2012 年 3 月号 (Vol.26, No.1) 6 月号 (Vol.26, No.2) の 2 号にわたって震災 1 年の特別企画に変更することが報告された。企画の名称および内容については、編集委員会と担当理事 (秋本筆頭副会長、中野理事) で議論することになった。

・学会 25 周年企画について：

学会誌「混相流」2012 年 9 月号および 12 月号における学会 25 周年特集企画の内容について編集委員会での検討中の案が報告された。案の内容に加えて、学生・女性研究者関連の記事、学会の年表、混相流技術の進展に関する記事、これまでの年会講演会をふりかえる記事、等を追加・検討しては如何かとの意見が出された。以上の意見等を踏まえて 11 月開催の編集委員会において内容を再検討していただくことになった。

#### 5. 企画部会報告

・資料 2011-2-05 に基づき、市川学生会担当理事から、年会講演会 2011 学生優秀講演賞受賞の候補者リストの説明があり、候補者 24 名を受賞者として承認した。加えて、2011 年度の学生会セミナーの報告があった。

#### 6. 国際部会報告

・資料 2011-2-06 に基づき、大川国際部会長から第 7 回混相流計測技術国際会議 (ISMTMF 天津 2011) の開催報告があった。なお、日本からの論文件数が少なかったのはアブストラクトの申込み時点の社会情

勢によるとのコメントがあった。そして次回の日本開催を控えた次回は日本からの論文件数を増すために各理事への協力依頼があった。

#### 7. 2011年度の対応について

・資料 2011-02-07 に基づいて三島前会長からの本年度への引き継ぎ事項およびその各事項への佐田富会長対応案の説明が佐田富会長よりあった。その後、対応案に対して意見交換を行った。意見は次の通りである。

/基本的には対応案に賛成である。

/対応事項に優先順位をつけて本年度に対応する事項とそうでないものを分けては如何か。

/対応事項ごとにWGをつくって検討し、事項によっては本年度中に対応できなくても中長期的に対応しては如何か。

/会員増強について、会費を10%増すれば会員の10%増と同じになるので、会費増も検討すべきではないか。これは学会の一般会計の健全化にもつながる。

/会費増と連動して、年会講演会・懇親会への参加費を下げては如何か。

/会費増のためには会員のメリットが増えるように恒常的な努力が必要である。

以上の意見を踏まえて、引き続き理事会で議論することになった。

#### 8. その他

資料 2011-2-08 に基づき秋本筆頭副会長から学会賞の候補者の推薦についての説明および佐田富会長より補足説明があり、候補者を積極的に推薦するよう要請があった。

資料 2011-2-08 に基づき秋本筆頭副会長から業績賞、貢献賞、名誉会員の候補者の推薦についての説明および佐田富会長より補足説明があり、候補者を積極的に推薦するよう要請があった。

2012年のOMF(第16回)の実行委員長を選任について加藤理事から説明があり、野村信福氏(愛媛大学)に依頼することを承認した。

小泉理事より第15回OMF(2011年12月9,10日)の進捗状況として25件の講演発表が予定されているという報告があった。

#### 次回理事会日程

第3回理事会は2011年12月17日(土) 龍谷大学大阪梅田キャンパスにて開催することにした。

以上

総務委員長 川原 顕磨呂